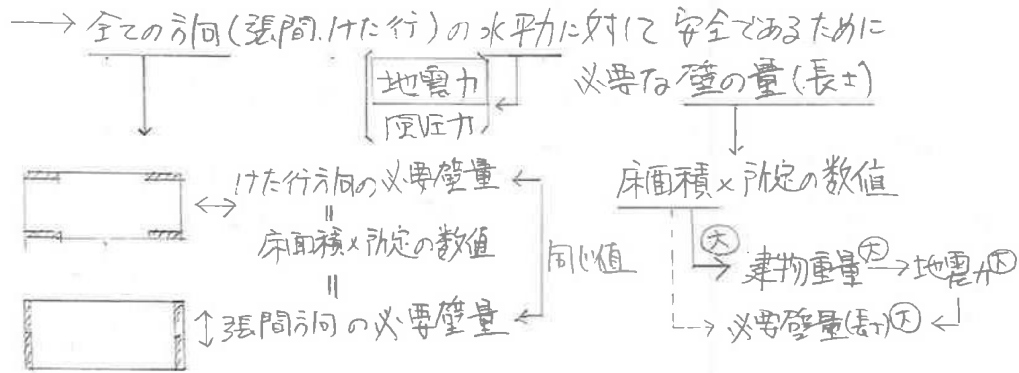


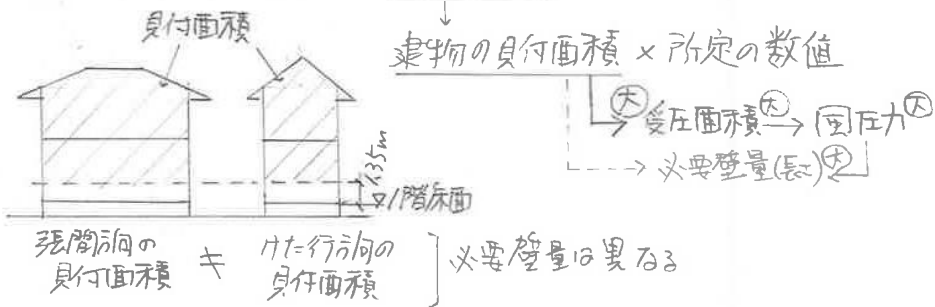
平成28年No.10 木造軸組工法の構造計算

1. 地震力により決定される必要壁量 → 張間方向とけた行方向で同じ値となる
2. 延べ面積 500㎡ を超える場合の検討 → 許容応力度計算等を行う必要がある
3. 風圧力により決定される必要壁量 → 床面から 1.35m を超える部分の負付面積 × 所定の数値 → 張間方向とけた行方向で異なる値となる
4. 構造耐力上主要な柱の小径 → 座屈を考慮した構造計算により決定する

地震力により決定される必要壁量 → 令46条4項



風圧力により決定される必要壁量 → 令46条4項



延べ面積 500㎡ を超える場合の検討

